

青森県行財政改革実施計画に係る取組状況について

1 進捗状況

平成29年度は、すべての取組事項について順調な取組状況となっています。
なお、状況変化に応じて一部取組工程の見直しを行いました。

(件)

戦略軸	取組事項	平成29年度取組実績		平成29年度までの完了・追加
		工程どおり	工程見直し	
I 業務戦略	15	14	1	0
II 組織戦略	42	41	1	0
III 協働戦略	13	13	0	0
IV 財政戦略	25	25	0	0
計	95	93	2	0

<工程見直し…2件>

○監査・検査の充実・強化（監査結果等の有効活用）(P17) …取組工程の追加

地方自治法の一部改正に伴う監査制度の見直しについて取組工程に追加。

○定員の適正化（県立高等学校教職員）(P56) …取組工程の見直し

新たに策定した「青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画」（平成30年度～平成34年度）を踏まえ、取組を継続することとし、取組工程を見直し。（実施期間 H29→H30）

2 主な取組事項の状況

《 I 業務戦略 》

○県民の利便性向上に資する改善の推進 (P4)

平成30年5月からの自動車保有関係手続のワンストップサービスの導入に向けて県税の電子収納を実現するため、マルチペイメントネットワーク導入のための環境構築を行った。

○事務改善等による事務処理の効率化・省力化 (P8)

任期付職員（IT活用）を採用し、ITを活用した集計・取りまとめ作業の効率化や資料作成の省力化などの事務改善を検討・実施したほか、出先機関等職員の本庁出張時における時間の有効活用等を図るため、本庁舎への職員用ワークスペース設置について試行した。

《Ⅱ 組織戦略》

○優秀な人材の確保 (P26)

受験者の確保及び拡大のため、職員採用プロモーション動画（一般事務／福祉編、獣医師編）の制作・公開や獣医師採用選考試験会場の新設（札幌会場）、社会人等を対象とした休日・夜間ガイダンス、ソーシャルメディアを活用した警察官採用広報などに取り組んだ。

○定員の適正化 (P54～58)

一般行政部門(P54)、教育部門(P55～57)、警察部門一般職員(P58)において、新規行政需要にも適切に対応しつつ、職員の定員の適正化を実施した。

《Ⅲ 協働戦略》

○民間活力の活用の推進 (P72)

民間との連携を強化し、県民サービスの向上及び地域活性化を図るため、東京海上日動火災保険株式会社及び損害保険ジャパン日本興亜株式会社との包括連携協定を締結した。

また、新たに、障害福祉サービス等の人材育成業務及びあおもり性暴力被害者支援センターの運營業務について民間委託を実施した。

○指定管理者制度導入施設の拡大 (P81)

「量子科学センター」において、平成30年4月から指定管理者制度を導入することとし、指定管理者を公募・指定した。

《Ⅳ 財政戦略》

○財政健全化に向けた取組の推進 (P93)

平成30年度当初予算において、平成29年度に引き続き、収支均衡を実現するとともに、県債発行総額についても可能な限り抑制を図った。

○県財政の状況等に関する情報共有 (P94)

当初予算編成及び各補正予算編成の内容等に加え、統一的な基準による財務書類について公表を行った。

3 今後の取組方針

平成30年度が大綱に基づく取組最終年度となることを踏まえ、取組成果の確実な発現が図られるよう、改革の総仕上げとして、取組事項について着実に取組を進め、全庁一丸となつて行財政改革に積極的に取り組んでいきます。